

# エコバックやごみの分別では地球を守れない

エコバックや分別も大切だけど、もっと大事なことがあります...!  
それは政治に参加すること。でもハードル高く感じませんか?  
まずは世界の状況を知ることから始めましょう!

ははラボ  
通信 第5号  
2021. 1. 18 発行



市民のつきあげによる

## フランスでの革命

日本人が大好きなパリでは若者が中心となってデモや抗議活動を続けた結果、

国を動かしたんです!これには世界も驚愕。市民の声を反映し、生きた環境計画を作成。すこいねー!



新政権はみんなと共に地球を守るよ!!



新しい国際社会のルールを作るのよ。



これからの世界は我が国がリードさせよう



世界各国が「脱炭素」を表明!そこで日本も...



じゃあやります



みんながやるなら...



よく言ったわ! まずは一步前進ね!

## 日本だって!

地方から変わろうとしてるよ!



長野や岡山など、前向きにとりくぶ地域はあるよ~

企業だって!

港区の「ゼロエミッション東京を実現する会」では、区民と区の職員と議員が、いっしょに会議を重ねてるよ。さすが港区女子っすね!



国と地方へのはたらきかけはどっちも必要ですね

でも 具体的には?

わたし(研究員まあむ)は、ネットの国会中継を見ながら衆参議員さんたちにFAXで意見を送り続けたわよ!



おもしろい意見は採用されるかも!



なるほど!

兵庫県の学生の意見に知事が動いた例もあるよ

Zoom 無料 セミナ 「消える日本農業、あなたは どうする?」

主催: 母なる地球を守ろう研究所  
日時: 2021年1月31日(日) 13:30~15:15

現役の有機農家と食のことを話します。(詳細はコチラ→)



## 『母なる地球を守るためのシステムチェンジに必要なこと』

長谷川浩（理事長）

ますます深刻になる地球規模の気候危機。正月明けの1月9日に『NHKスペシャル 2030 未来への分岐点 (1)「暴走する温暖化 “脱炭素”への挑戦』』ではどうして脱炭素が必要なのか、正面からとりあげました。

世界的に著名な環境学者でドイツ・ポツダム気候影響研究所の所長のロックストローム氏は、人間活動がかかる負荷はすでに地球の限界(プラネタリーバウンダリー)を越しつつあることを警告しています<sup>注1)</sup>。番組の中で、ロックストローム氏は、人類はコロナウイルスに加えて地球レベルの環境危機においても非常事態にあり、今年2021年からの10年が人類の未来を決定づける10年だとしました。人類の未来が、希望に満ちあふれたものになるか、暗黒世界(ディストピア)になるかは、これからの10年の行動次第です。メルマガ1号と2号でまとめた通りのことがNHKでも報道されました。

ロックストローム氏は、もし2030年ごろに気温が産業革命前より+1.5℃を超えるようだと、1)北極の海氷が大幅になくなって太陽光を吸収して暑くなり、2)そうすると極地の永久凍土が融けて温室効果をもつメタンガスが漏れ出し、3)ブラジル・アマゾンの熱帯雨林が乾燥と高温でサバンナになってしまい、CO<sub>2</sub>を吸うのではなく排出するようになり、4)南極の氷河までもが融け出すという、『地球規模のドミノ倒し』が発生するという驚愕のシナリオを提唱しました<sup>注2)</sup>。

このような地球規模の深刻な問題に対して、エコバッグやゴミの分別では無力なことから、メルマガ5号のタイトルを『エコバッグやゴミの分別では地球を守れない』としました。

地球の安定した気候は様々な生きものを育んできました。その種類は数百万種から数千万種といわれています。母なる地球です。母なる地球なしに80億人に達しようとしている人口を支えることはできません。温度上昇を1.5℃以内に抑えて地球規模のドミノ倒しを防ぐには、社会システムの大幅な変革=システムチェンジが必要です。システムチェンジのためには、政治家に対して市民が要求を突きつけることが不可欠です。アメリカのバイデン新大統領は、実は環境政策にはあまり熱心ではありませんでしたが、若い人たちの強要求で環境政策に重点を置くようになりました。

1月3日放送の『BS1スペシャル 「クライメート・ジャスティス パリ“気候旋風”の舞台裏』』でも、フランスのマクロン大統領に環境政策実施を迫る市民の草の根運動を丹念にとりあげました。紆余曲折がありながらもめげずに政治を変えようと前に進む姿は感動ものでした。

日本では環境問題に取り組むことは、かえってマイナスだというイメージが依然として根強いようです。NHKの二つの番組は世界の若者の真摯な姿を教えてください。ぜひご覧になってみてください

さい。そして、システムチェンジを日本でも起こすために、政治家に対して意見表明をしましょう。次のページでは、理事の伊丹さんが、昨年末の臨時国会で成立してしまった『種苗法改正(改悪?)』でいても立ってもいられず、政治家に働きかけた様子をご本人にまとめてもらいました。このような熱意ある人がどんどん増えたら、アメリカやフランスのように国の環境政策を変えられるはずです。

※ 『NHKスペシャル 2030 未来への分岐点 (1)「暴走する温暖化 “脱炭素”への挑戦』』

<https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2020111368SA000/>

『BS1スペシャル 「クライメート・ジャスティス パリ“気候旋風”の舞台裏』』

<https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2020111851SA000/>

はNHK オンデマンドで視聴できます。

注

1) Rockström ほか『A safe operating space for humanity 』Nature (2009)

2) Steffen ほか『Trajectories of the Earth System in the Anthropocene』全米アカデミー紀要 (2018)

## 『忙しい議員さんに、勉強した事実を教えてあげました』

伊丹ルリ子（理事）

2020年10月26日～12月5日に臨時国会が行われました。ご存じの方も多いと思いますが、「種苗法改正案」の審議が行われ、12月2日に成立しました。その前には、2018年4月に種子法が廃止されました。これは何を意味するのでしょうか？

農業者にとっても、消費者にとっても 食の安全に重要な意味を持ったこの法律が、どのように審議されるのか、私は、インターネット国会審議中継を注視してみました。衆議院インターネット審議中継（shugiintv.go.jp）ここで、カレンダーの月日をクリックして当日や過去の審議も見ることができます。そして、議員さんの代表質問や、農林水産大臣のお話を直接お聞きすることができました。生で観るとその方の想いが伝わってきて興味深々でした。

<衆議院農林水産委員会の録画>

[https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli\\_id=50876&media\\_type=](https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=50876&media_type=)

種苗法で種子の海外流出を止められない問題や種子を買うための許諾手続きの煩雑さや表示の無い問題などが審議の中心になっていました。しかし農家の減少による私たちの食料確保や食の安全性など命に関わる問題に対する議論が無くて心配になりました。

日本弁護士連合会が国会議員全員にFAXで「賛成」の意見を送ったということを知りました。

どなたかに反対の意見を質問してほしいと、次に開かれる参議員・農林水産委員会の議員さんたちに私も負けずに、審議中継を見ながらほぼ全員にFAXを送りました。審議は本論からはずれ過ぎていましたので、最後に私は、「国民の命を守ってください。種苗法の改正は要らない！」とまで書きました。すると、最後に参議院の紙議員が「種苗法改正は廃案に」と言ってくださいました。

<参議院農林水産委員会の録画>

<https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/detail.php?sid=6051#7356.5>

審議中断を2度しながら農林水産大臣の答えは無いままに、自民党の賛成多数で参議員では法案は可決されてしまいました。残念な結果にはなりましたが、意見を届けると日ごろの想いが言えて気持ちがすっきりしました。一部の議員さんたちが私の想いを受け止めてくださったことがうれしく思いました。私たちがたくさんFAXを国会議員に送ることで、議員の質問の中でも、「毎日FAXがたくさん届いています！」と発言してもらえたので、効果的だと思いました。

補足・・・さっそく私が一番心配していたことが起こってしまいました。「種苗法改正案が12月2日に成立。速攻で、12月11日に「ゲノム編集 GABA トマト」の届け出があり、家庭菜園向けに無償配布を受けるための申込み受付がネットではじまりました。コロナ禍のどさくさに早すぎる！スピード違反。このトマトは、人体実験だと思います。2021年4月に種苗法が施行されると、販売流通が可能となります。安全性の検証されていないゲノム編集技術ですので、食べない、栽培しない(交雑による環境汚染)ことを切望します。欧州では、司法裁判所がゲノム編集生物は遺伝子組換えと裁定しました。

参考:

- 1) 『【続報】厚生労働省への届出および農林水産省への情報提供書を提出いたしました | サナテックシード株式会社 (sanatech-seed.com)』  
<https://sanatech-seed.com/ja/20201211-1/>
- 2) 1 ページ目のイラスト新聞(右下)で兵庫県の学生が行なった活動は以下を参考にしました。  
『サラバ東京 コロナ後の未来(8) 地方自治 高校生「ノー」行政動かす』(神戸新聞 NEXT、2021年1月11日) <https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202101/0013997822.shtml>
- 3) 1 ページ目のイラスト新聞(中央下)にある『ゼロエミッション東京を実現する会』は以下に詳しい情報があります。<https://zeroemi.org/>

## Zoom 無料セミナー「消える日本農業、あなたは どうする？」

地球レベルの環境問題が深刻になる一方です。極端気象が年を経るごとに激しさを増しています。今後さらに激化する予測です。

それと反比例するかのように、世界中で有機農業が右肩上がりです。しかし、日本は世界の流れから取り残されて有機農業が停滞してきました。国内農地に占める有機農業面積は認証を取っていない農地を入れてもわずか 0.5%にすぎません。有機農業の停滞と表裏一体で、日本の農薬残留基準は主要国最悪レベルです。家畜の飼育も酷いもので、卵を産む鶏は満足な運動もできないケージ飼いが普通。肉にするブロイラーもウインドレス方式といって薄暗い工場のようなところにぎゅうぎゅう詰めに閉じ込めています。そんな鶏にインフルエンザの感染が止まりません。輸入されている小麦などには収穫直前に除草剤が散布されています。輸送中もポストハーベスト農薬が撒かれている場合があります。輸入されている牛肉などには成長が早くなるよう合成の成長ホルモンが投与されています。結果、日々口にする食品のほとんどに農薬、抗生物質が残留しています。量は微量かもしれませんが多数種が残留していて、胎児の時から死ぬまで摂り続けているのです。世紀の人体実験をしているといえるでしょう。食べ物の安全性について真剣に考えるほど、スーパー、コンビニ、ファミレスには食べるものがほとんどありません。

2015 年から 20 年のわずか 5 年間で農家が 22%以上、39 万 6 千人も減ったのは知っていますか？稲作が日本で始まってから 2,000 年あまり経ちました。わずか 5 年でこれほど減ったことは日本の歴史上もちろん初めてです。理由は簡単、農業で生計が立てるのがとても難しいからです。しかし、これほど重大なニュースを報じたのは地方新聞と農業専門紙だけで、大手マスコミはほとんど報じていません。多くの消費者は知らないのではないのでしょうか。他方で、農政は競争力と輸出拡大を迫ります。貿易自由化で輸入農産物が洪水のように押し寄せています。結果、耕作されなくなった田畑（耕作放棄地）面積は 42 万 ha (4,200 平方 km) を超えました。富山県の面積に匹敵します。このままだと日本から農業が消えてしまうことがたいへん危惧されます

あなたと家族の食べるものはどうしますか？有機農業を、栃木県大田原市で営む古谷慶一さん、千葉県東庄町で営む佐久間清和と一緒に考えましょう。

主催 母なる地球を守ろう研究所

日時 2021 年 1 月 31 日 (日) 13 時半から 15 時 15 分

参加方法 zoom で

参加費無料

申し込み方法 参加フォームからお申し込みください。

<https://peatix.com/event/1779399/view>